

第136回厚生科学審議会 科学技術部会	資料3-2
令和5年7月13日	

令和5年度 厚生労働科学研究費補助金（三次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能 実装研究事業 (AC)	リアルワールドデータの二次利用加速にむけた多施設統合データ処理方式の導入の試行研究 (AC-1)	<ul style="list-style-type: none"> クラウド技術を応用して、研究者自らが、臨中ネットを経由して複数の医療機関からデータを取得し、データ集計、解析が実施できる環境(システム)を開発する。 複数の医療機関においてテストデータを用いて、上記で開発したデータ処理システムにおいてデータ受け渡しを試行し、データ漏洩が生じないシステムが構築できたことを確認する。 上記の試行的実装に基づいて実装に関する技術的な課題を整理するとともに、将来的に利用者側(研究者側)で必要となるクラウド上での解析作業に必要なソフトウェアを開発する。 リアルワールドデータの構造を考慮して、生物統計学で頻用される集計や統計手法への対応可能性を系統立てて検証する。 	15,000	1	2
	ICT利活用による副作用等報告システムの抜本的な基盤改革のための研究 (AC-2)	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテから医薬品医療機器総合機構への伝送までに必要な試行的標準仕様(各種ベンダーの作成する電子カルテソフトの標準となるフォーマットやデータ形式等)の構築 作成した試行的標準仕様に基づく電子カルテの円滑な利用可能性に係る調査結果 高いユーザビリティを有し、医療従事者の負担軽減につながることを確認した資料(例えば、過去に実施した副作用等報告との比較などの検証結果) 医薬関係者の利用拡大に向けた提言 医薬品以外の副作用等報告への展開可能性に関する検討結果 	15,000	1	3
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
倫理的法的社会的課題研究事業 (AD)	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の見直しに向けた新たな課題・論点の抽出及びそれらの対応策の確立のための研究 (AD-1)	<ul style="list-style-type: none"> 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の適用範囲及び示すべき基本的な原則を検討するために考慮すべき課題の抽出(国内の人を対象とする研究に関する指針等の成り立ちの経緯や、諸外国等の関連する制度を調査し、それらを俯瞰的に整理するとともに、国内において、生命科学・医学系研究を実施する上で生じている課題を抽出・整理したうえで、今後の我が国における規制範囲、インフォームド・コンセント等の手続き、倫理審査委員会の役割・責務等についての考え方や課題を提言すること。) 上記課題を提言としてまとめ、そのまとめのエビデンスレベルを示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) 	8,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	遺伝性腫瘍に関する医療提供体制の整備に資する研究 (EA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝学的検査(がん遺伝子パネル検査や全ゲノム解析を含む)により検出される、遺伝性腫瘍が疑われる病的バリエーション(Presumed Germline Pathogenic Variant: PGPV)について、エビデンスに基づく開示推奨度や対応方針をまとめる。 ・ 遺伝性腫瘍多遺伝子パネル検査(Multigene Panel Testing: MGPT)を臨床現場に広く導入するにあたり、病的バリエーションに基づいた診断、治療、遺伝カウンセリング、サーベイランスといった診療を標準化するための指針をまとめる。 ・ 遺伝性腫瘍にかかる診断、治療、サーベイランス等の保険収載に向けたエビデンスに基づく有用性、費用対効果、対象者の基準を検討する。 ・ 遺伝カウンセリングおよび遺伝性腫瘍カウンセリングの提供体制を均てん化するための課題と解決策を検討する。 ・ 遺伝性腫瘍について一般の国民向けの研修教材の作成および研修会を実施する。 	12,000	1	3
	【再公募】 診断・治療が特に困難ながんの実態把握と治療成績の向上に資する研究 (EA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断・治療が特に困難ながん全般の特徴の整理。 ・ 小児がんや希少がんを含む関連領域及び用語との関係、定義、それらの国内外の状況の整理。 ・ 診断・治療が特に困難ながん全般について、国内外における取組(特に国外における施策及び研究開発に係る取組)の実態把握及び整理。 ・ 診断・治療が特に困難ながん全般について、がん種毎または要因毎の診療及び治療研究を進める上での課題の検証。 	7,000	1	2
	【再公募】 がん領域(特に希少がん、小児がん)の治験等に関する医療従事者の情報リテラシーの向上に資する研究 (EA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん領域(特に希少がん、小児がん)の治験等に関する医療従事者(医師・看護師・薬剤師など)の学習機会・情報リテラシー等に関する実態把握(国際的な動向の調査を含む)及び課題の抽出 ・ がん領域(特に希少がん、小児がん)の治験等について、医療従事者の情報リテラシー向上に資する研修プログラム、研修教材の作成、及びその活用による効果の検証結果(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) ・ がん領域(特に希少がん、小児がん)の治験等について、医療従事者が、がん患者に説明する際に活用できる説明用資料の作成 ・ がん領域(特に希少がん、小児がん)の治験等に関する医療従事者(医師・看護師・薬剤師など)の学習機会・情報リテラシーの向上について、国際的な動向も踏まえた対応策の提言 <p>※ 主に、治験にがん患者を紹介する紹介元医療機関における医療従事者を対象とすること</p> <p>※ 各種資料については、全国のがん診療連携拠点病院等の医療機関での活用が可能な形とすること</p>	8,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 (FA)	温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究 (FA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 温泉療法による生活習慣病予防等の健康増進効果に関する最新のエビデンス(湯温、入浴時間、入浴頻度、療養期間等の入浴方法)を整理する。 温泉利用型及び温泉利用プログラム型健康増進施設の現状把握のために、利用者の背景や利用状況、人的配置・設備の状況、提供されているプログラム等に関する調査を行う。 健康増進、生活習慣病予防、リハビリ等の利用者毎の健康状態や利用目的等に合わせた、標準的なプログラム(温泉療養、温泉利用プログラム等)を開発する。 	8,000	1	3
	【再公募】 AEDの適切な利用環境の構築に向けた研究 (FA-2)	<ul style="list-style-type: none"> AEDが使用された事例を集積し、分析・検証を実施して、使用者がAEDの使用方法を誤る要因を抽出する。さらに、これらの要因に対する解決策を提案し、実際に解決策の効果を検証するために介入研究を実施・評価することによって、AEDの適切な使用に向けた提言を行う。 ICTを活用し、正確でリアルタイムなAEDの設置場所・利用可能な時間帯をオープンデータとして公開し、心停止症例が発生した際、市民がすぐにAEDを発見することができるように、システム構築に向けた検討を行う。 	5,600	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
女性の健康の包括的支援政策研究事業 (FB)	女性の健康課題、特にやせ、飲酒等の課題の解決に向けた方策及び、新たな女性の健康課題の指標・目標の策定を推進するための研究 (FB-1)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の飲酒について、健康日本21(第二次)最終評価では生活習慣病のリスク高める量を飲酒している者の割合の減少について、女性では「D悪化している」となっていることを踏まえ、女性特有の社会的背景を含めて課題の解決に向けた検討を行い、政策提言につなげる。 女性のやせに関する系統的文献レビューを行い、やせによって引き起こされる問題(無月経、骨粗鬆症、低出生体重児等)毎に課題の分析を行い政策提言につなげる。さらに、国民がそれらの研究成果に簡単にアクセスできるように十分な工夫がなされた普及啓発・情報伝達の方策の検討も行う。 健康日本21における他の指標の策定過程を参考とし、更年期等に発現しうる新たな女性の健康課題の指標・目標の策定に向けて、各種エビデンス(論文等)の集積を行い、指標・目標の立案や検証を行う。また、それらをまとめた基礎資料を作成し、新たな女性の健康課題の指標・目標の策定につなげる。 	15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業 (IA)	【再公募】 歯科医師国家試験のCBT化に向けた、ICTを活用した歯学生の評価手法の確立のための研究 (IA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の文献調査等を通じて、実臨床に即した知識を適切に評価するために必要な動画等とそれを用いた問題例を作成すること。 当該コンテンツを用いて歯科医師国家試験のCBT化に向けた課題とその解決法を提示すること。 	2,300	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業(KC)	<p>【再公募】 地域医療において地域連携薬局や専門医療機関連携薬局が果たしている役割の実態把握、及び今後求められる機能の検討のための調査研究 (KC-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携薬局における一元的な服薬指導や在宅訪問薬剤管理指導の実施状況、医療機関や他の薬局等との連携状況等の実態把握及び課題の整理 ・ 専門医療機関連携薬局における専門医療機関との連携状況、地域の医療機関・薬局等との連携状況等の実態把握及び課題の整理 ・ 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局において今後求められる機能及びそれら機能を保有していることを評価するための手法・基準の作成 	4,000	1	2